

2016J2

■順位表■第17節(暫定)

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1*	1	札幌	33p	+12	24	12	H●
	2	松本	32p	+12	23	11	H●
	3	岡山	31p	+9	27	18	AO
	4	町田	31p	+8	19	11	A△
	5	C大阪	31p	+4	21	17	
1*	6	京都	30p	+7	22	15	
	7	山口	28p	+2	26	24	H●
	8	千葉	27p	+5	23	18	A●
	9	清水	26p	+12	27	15	H△
	10	讃岐	21p	-2	20	22	A●
	11	岐阜	21p	-7	21	28	---
1*	12	横浜FC	20p	+3	18	15	
1*	13	愛媛	20p	-2	12	14	AO
1*	14	水戸	18p	0	13	13	HO
1*	15	山形	18p	-3	13	16	H●
	16	徳島	18p	-7	14	21	AO
5*	17	熊本	16p	-1	13	14	
1*	18	長崎	16p	-6	18	24	H●
	19	東京V	16p	-10	12	22	A△
	20	群馬	15p	-9	19	28	A●
	21	金沢	11p	-13	15	28	AO
	22	北九州	11p	-14	12	26	HO

注：*のついたチームは消化試合が
前の数字だけ少ない(1*は1試合)

次回HomeGame

第20節 vs. ロアッソ熊本

6/26(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23
tel: 058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : セレッソ大阪

2015 J2 18勝13分11敗 勝ち点67: 第4位

直近の対決と結果

2015/08/15
J2-29節@金鳥スタ
岐阜 0-1 C大阪

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	セレッソ大阪
2016/06/08 J2-17節@味フィ西 東京V 1-1 岐阜	2016/06/08 J2-17節@長崎県立 長崎 1-2 C大阪
2016/06/04 J2-16節@長良川 岐阜 2-4 長崎	2016/06/04 J2-16節@ヤンマー C大阪 2-3 讃岐
2016/05/28 J2-15節@長良川 岐阜 0-1 山形	2016/05/28 J2-15節@ヤンマー C大阪 2-1 岡山

●2連敗して臨んだ6/4(土)第16節・ホーム長崎戦。しかし、またしても試合開始わずから6分で2失点。その後18分までに両チームで計5点を獲得乱打戦になったが、前半で相手のFWにハットトリックを許すと、後半は反撃もできずに2-4での敗戦。今季初の3連敗そして不甲斐ないホーム連敗に、サポーターからは厳しい声が飛んだ。これに奮起したのか、中3日で挑んだ6/8(水)第17節・アウェイ東京V戦は、前半終盤にPKを献上したものの、後半は巻き返して同点に追いつき、あわや逆転というシーンも作り出したが1-1での引き分け。逆転できなかったのは残念だが、アウェイで連敗を3で止める貴重な、そして次に繋がる勝ち点1を手に入れることができた。勝ち点を積み上げたが、FC岐阜の順位は変わらず暫定11位。上位9チームとは勝ち点差が離され、9位・清水とも勝ち点差5になってしまった。一方、中位~下位の勝ち点差は縮まり、10位・讃岐~16位・徳島との勝ち点差はわずかに3。その7チームのうち、1試合を未消化のチームが4。1試合の勝敗で大きく順位が上下する激しい中位争い、目の前の1試合に集中して、しっかりと勝ち点をそして勝利を積み重ねていかなくてはならない。さて、中3日で迎える今節の相手は、J1復帰を狙うセレッソ大阪だ。去年は4位で、プレーオフ決勝で涙を飲んだ。現在は5位と若干苦しんでいるが、その強力な布陣は今年も健在だ。これまで香川真司、乾貴士、清武弘嗣、南野拓実、山口蛍など数々の日本代表級選手を海外に送り出し、また在籍する選手も、#2扇原貴宏、#3茂庭照幸、#7関口訓充、#9杉本健勇、#19田代有三、#20玉田圭司、#31橋本英郎などの日本代表・世代別代表の経験者や、#21キム・ジンヒョン(現・韓国代表)といったタレントの名前がズラリと並ぶ。中でも、今季スイスリーグから古巣に復帰した#8柿谷曜一朗は、エースとして既に5得点を挙げている。ただし前節に負傷退場しており、今節の出場は厳しいだろう。一方の岐阜も#6高地系治、#15田森大己、#17野垣内俊などの主力選手を怪我で欠き、#35磐瀬剛も累積警告で出場停止と苦しいチーム事情だが、これに替わる選手には巡ってきたチャンスをモノにして欲しい。柿谷以外には、#6ソウザ、#10ブルーノ・メネゲウ、#11リカルド・サントスのブラジルトリオにも要注意だ。対する岐阜の#9エヴァンドロ、#10レオナルド・ロシヤ、#33レオミネイロのブラジルトリオの活躍に期待したい。特に、ブルーノ・メネゲウとレオナルド・ロシヤの10番対決、あるいはレオミネイロとの元チームメイト対決は要注目だ。通算対戦成績では、岐阜の1勝7敗・3得点19失点と大きく負け越している。昨年ホームで0-2、アウェイで0-1と2連敗しているが、逆に言えば「FC岐阜はセレッソ大阪に1度勝っている」。それが7年前、2009年7/26(日)・第30節のことだ。ここ岐阜メモリアルセンター長良川競技場を舞台に、香川真司や乾貴士がスタメンのセレッソ相手に、先制されたが劇的な2-1での逆転勝利。今節は、あの勝利の再来を僕たちに見せて欲しい。今節は既に一部の座席が売り切れるなど、多くの観客の来場が見込まれている。大変厳しい相手だが、今節こそホームで不甲斐ない試合をすることは許されない。そのためにも、今節こそ試合の入り方が、今季これまで計28失点のうち前半15分で10失点している守備の入り方が、本当に重要だ。そのためにも、僕らサポーターは選手を鼓舞して、時には叱咤激励しながら最後まで勝利を信じ、拍手や声援を届けていきたい。9日間で3試合を戦うタフな日程の最終戦。選手たちの疲労もピークだろう。だからこそ、勝ちたいと思う気持ちがより強い方が勝つ。そんな気持ちのこもった激しく熱い試合を、選手たちには見せてほしい。(ささたく)



「いらっやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
アドレスが変わりました

gidaidohri@gmail.com

【第16節】岐阜 2-4 長崎

●“もうホーム戦でこれ以上負けられない” “もうホームで無様な試合をして欲しくない” と、誰もが思っていたはずの長崎戦。その期待に応えようと、スタメンを4名入れ替えて臨む岐阜。だけど…右SBは本職じゃない#28 水野泰輔、そして左SBは今季初出場の#20 鈴木潤。確かに#17 野垣内俊や#18 富士祐樹をはじめDF陣には怪我人が多いから、苦しい台所事情なのはわかる。でもそれだったら3バックで守備を固めて臨む方が良くないかな？それに今節は、オーストラリアとの交流事業で来日したジャレッド・ジレット国際審判が主審。日本人レフェリーと違う感覚の笛に適応できた方が勝てる…試合開始前は、そんなことを考えていた。

だけど、そんな心配は残念ながら不要だった。前半早々、なんと試合開始3分で、またも失点。これって今季の最速失点記録だよな…(溜息)。ただFKだったし「出会い頭」って可能性も否定できない、というか肯定したい(苦笑)。まだまだ、これから…って思い直してる間もなく、6分にDFラインの裏をとられて失点。2失点目の今季最速記録だし、これは言い訳できない失点。今までずっと「試合の入りが悪い」とチームの内外から言われ続けてきたのに、なんでこうも簡単にゴールを許してしまうんだろう…(悲痛)。しかも、前半の長崎は、お世辞にも良い出来とは言えなかった。だって立て続けに2点獲れたし、他にも惜しいシーンが何度かあった。あれを決めていれば展開は変わったはず…という想いもあるのだけれど、でもそれ以上に自分たちの守備が立て直せなかった。ボランチの#15 田森大己、#6 高地系治が相次いで負傷交替。試合中の不幸な怪我とは思っただけけれど、でもこれだけ怪我人が続出していると、やはりウチの設備はまだなんだと思う。さらなる練習設備の向上・フィジカルケア施設の充実が急務だ。それと、今の環境では選手に無理させない練習内容も必要かもしれない。そして、ボランチに入った#27 苅部隆太郎が治療のためにピッチを離れている間に4失点目。重要なポジションの選手が抜けているのに、それをカバーする意識が欠けていたと言われても仕方ないような失点。折角1点差に追いつき攻め立てていたのに、隙を突かれてあっさりと#9 永井龍にハットトリックを献上。あまりにも勿体ない失点だった。

しかし、前半はシュート数だけなら長崎が6本に対して岐阜は11本。あとは枠に入れる精度を高めれば…と思っていたら、これも残念な方向で「前半と後半ではサッカーが違う」。後半から長崎が5バック気味で守備固めに入ったけれど、それを崩せない。仕掛ければ良いのにと思うところで、相手の守備網に捕まってカウンターで失点することを怯えているのか、仕掛けない。それと…よく言われる「守備は決まり事で、攻撃はセンスで」っていうのも少しぐらいは判らなくはないけれど、それでも“本当に攻撃にはなにも約束事がない”のか？って思うぐらい、選手がどうしたらいいのか迷っているのが伝わってくるボール回し。だからパスミスも増えるし、仕掛ける選手へのフォローも少ない。例えば#33 レオミネイロが突進する時なんか2~3人の相手選手が止めに来てるんだから、それだけフリーになってる味方選手がいるはずじゃないのかな？なのに、任せきってしまって結局はボールを奪われる展開も目立つ。長崎の「後半は2点差を守りきって、あわよくばカウンターで追加点を入れて勝つ」という戦術を崩せないまま、ゴールネットを揺らすことも出来ないまま、試合終了。後半のシュート数は、引いて守ってた長崎が2本なのは理解できるとして、ホームで逆転するために攻めなくてはならない岐阜が僅かに3本…それで2点差を逆転できると思っていたんだろうか？(溜息)

これで、第5節・3/26の水戸戦以来、ホームで2ヶ月間以上も勝利がない事態に。ホーム戦の2勝1分5敗・6得点14失点というデータは、さらに分析すると前半に12失点で、後半の得点は第3節・3/13北九州戦の1点のみ。これまでホーム

戦でコイントスによる陣地交換は行われていないので、結果として岐阜のゴール裏にいるサポーターは、目の前で失点ばかり見せられて、得点は1回しか見ていない。そしてホーム戦なのに前半で勝負が決してしまうような試合ばかりでは、やはり不満が溜まるし、客足も遠のいてしまう。

この3連敗で、下位との勝ち点差は急速に縮まりつつある。まだ11位だけれど、もう11位。それは、これまでJ2残留争いを生き抜いてきた僕らが一番よく判っているはずだ。ここでチーム全体が危機意識を持って意識改革を行わないと…。僕の不安が杞憂に終わることを切に願う。(ささたく)

●3、6、9、13、18……、惜しいっ。13が12だったら3の倍数でつながってたのに。高等数学に関心のある御仁なら、もっとレベルの高いお話を提供していただけるかもしれない。が、ボクにはこの程度の感想しか言えない。まあ、いいや。サッカーの話をしようか。というか、サッカーなんだよね？この試合。有り体に言えば、前半終わった時に「最終スコアは6-5とか7-6ぐらいになってるんじゃないか？」とさえ思った。どっちが勝つのかは、まだわからない。自分とこのコトは棚に上げさせてもらおうと、前半20分も立たない間に3点も取ってるのに、前半20分も立たない間に2点も取られる長崎さんもたいが良かったゾ？もちろん、何度言われても開始早々に失点したばかりか、開幕直後の二試合を繰り返すかのような試合をした地元のクラブは論外。言うまでもないか(苦笑)なあ、いったい何を練習して、何を話し合っただけで試合に臨んでるの？この紙面で何度も書いてきたと思うが、こんな芸風はいらんって。先制されてからじゃないと気合入りませんか？確かにね、スタメン見た時はわが目を疑ったよ。またか、って。ケガ人が多いのは知ってる。けれど、潤と泰輔をSBでのスタメンはないよな。これも以前の紙面で書いたけど、適正なポジションに適正な選手。そりゃあ、潤はSBだ。でも、今季初スタメンで初出場。特別指定での経験があるとはいえルーキーだよ？両サイドの上下動とかのバランス、CBとの連携も考えなきゃならないSBに経験豊富とは言えない2人を同時に使いますか？もちろん、いろんなタイプのSBがいるのは知ってるつもり。泰輔に縦へのスピードとかは期待できないけど、ウチの中ではボールを運べるし、長短のパスも出せる。そのうえ、中に切り込んでのミドルもある。実際、後半にはポストに阻まれるシュートもあった。トップが瀧谷なんでアーリークロスも有効だ。わかる。それはわかるが、素人のボクでもわかるくらいだから、当然向こうの監督も選手もわかるだろう、それくらい。でもって、ある意味想像通りに泰輔の裏のスペース衝かれて、遅れて対応した泰輔に警告。そこからのFKで田森に当たってコースが変わったとはいえ、ファーにどフリーな選手作って、サクッと失点とか。その後も泰輔と阿部の連携の軽さを衝かれての失点。挙句には、岡根のクリアがうまく当たらず、よりによってそれが相手のFWへの絶好のアシストになるとか、ホントにもう。16節だよ？この試合。未だに実戦で実験しなきゃいけませんか？こういう布陣は練習だけにしてほしいと切に思います。結局、潤は前半で交替。守備を意識して上がるのも控えて(だよな？)無難にこなした、と言えなくもない。でも、この試合結果、内容では10点満点の4点か4.5点。気の毒な試合になってしまった。さらに痛かったのが両ボランチの負傷交替。特に、スッカスカの最終ラインにカラダを張ってフォローに走った結果、おそらく同じ部位を打撲した高地の具合はいかに？ものすごく心配です。

試合自体は、後半を長崎が締めに懸かって得点は動かないまままで終了。スタッツを見ると、長崎のシュートはウチの約半分。そのシュートがほとんど枠に飛び、ヨシナリが止められなかったのがことごとくゴールに決まった、と。双方ともいいかげんにしなさい、と言いたくなるような試合になってしまった。前半は0-0でいい。そういう意向があるなら、「とりあえず前半は上がらなくてもいい。最終ラインに蓋をして、前はレオミとレオロシャに好きにやらせとけ。ボール持ったら早め

に瀧谷に当てろ。」でいいじゃん。そう思うけど、「選手に聞いてほしい。」というコメントは今日に限って言うと同意的なゾ。あれだけ対一の場面を作られ、フリーで撃たれたら、そりゃゴール決めるワ。長崎のFWも。それにしても、イイ連携してたよな。永井と向こうの18番。コンビができてた長崎と瀧谷が孤軍奮闘してたウチとの差かもしれない。ほんと、瀧谷はよくやってたと思うよ。FWとしてゴールも決めた。前線からの守備もした。そのせいで、後半途中からは足が動かなくなってたね。なのに、終盤になってからも、彼に対して「スペースへ走れ！」というような早いパスを出してるのには笑った。ちゃんと、ポストとして使ってあげなよ。知ってるだろ？瀧谷のストロングポイントぐらいは、さ。まったくもって残念すぎる試合だった。それでも、不思議なことに終了後には「しょうがないか。これもサッカーだ。」と思えた。たぶん、前半で2点取って、レオミのバー直撃を含む惜しいシュート、泰輔のポストに阻まれたシュートとかがあったからだと思う。ゴールって大きいな。それから、試合後の挨拶でヨシナリを先頭に選手が普段よりサポに近い位置まで寄ってきた。不甲斐ない試合をした。何を言われても受け止める。そういう気持ちの表れと感じた。その意気やよし。そういう気持ちを今後の試合に生かしてほしい。まずは東京V戦。中三日の厳しい試合だけど、気持ちを見せてほしい。でないと、帰りの新幹線はまた自由席になっちゃうよ？(ぐん、)

●前半で2-4だったけど、心配なんかしてなかったし、長崎サポも安心なんかしてなかっただろう。だって、岐阜と長崎の両チームで『ザルの目の粗さ』を競っているようにしか見えない試合だったから。前半の途中くらいまで、「こりゃあ8対20くらいの試合になるか？」とか思っちゃったよ(苦笑)。ウチの監督も、前半で負傷交代で2枚のカードを切らざるを得なかったのは想定外だったろう。後半アタマでキツパリと3枚目を切ったのは評価してます。あんなったらバクチ打つしかないもんね。しかし、長崎の監督さんが自分トコの順位と『ザルの目の粗さ』を認識してて後半の早いウチに5バックにしたら試合が閉じてしまった。主導権を握った者の勝ちかな。(吉田鑄造)

【第17節】東京V 1-1 岐阜

●平日水曜のナイター。中3日でのアウェイゲーム。選手にも、そしてサポにも(苦笑)厳しい試合。そして去年は悪夢の大逆転を見せられた相手。それでも、もうこれ以上連敗はできない、そう誰もが思って臨んだ試合だったろう。前節に怪我人も出てリカバリーも難しい日程で、スタメンを3名入れ替え…おお、#30 田代雅也がスタメン！現在不足しがちなDFの復帰は好材料だ。その効果もあったのか、危険なシーンは何度かあったものの、守備面ではひたむきに走ってボールを追いかけ、試合序盤にゴールを割らせない。一方の攻撃面でも、ボールを奪ったら素早く縦にボールを出し、相手DFの裏を抜けていく選手に渡して突破を図る、実にシンプルな攻め方。開幕2連敗を喫した後と似たようなサッカーに戻したのだと、僕には感じられた。残念なのは、縦に出す選手同士の呼吸がイマイチ合わなくてパスミスが相次いでたり、相手に若干押され気味だったことだけれど、それでも、前節・長崎戦よりはずっと効果的な戦術に見えた。前半終了間際のPK献上、そして失点は少し勿体なかったけれど、それでも、後半に望みを繋げられる展開。後半は#4 岡根直哉をCBで投入して守備の強化を図ると、チームの勢いが増す。そして、相手ゴール前で逆サイドに流れたボールを、SBに入っていた#2 阿部正紀が決めて同点！PK献上を帳消しにする、値千金のゴール。今年の阿部ちゃんは、攻撃力が高まってSB適性の方があるんじゃないか…？そんなことを思わせてくれるゴールだった。後半早々に追いついた後は、お互いにオープンな展

開になり、さらに攻撃にシフトしていく岐阜。何度も惜しいシーンを作り、ピンチには身体を張ってゴールを守る。そんな一喜一憂する試合を見ながら、僕は少し別のことを考えていた。仲間の言葉を借りれば「サッカーには“芸術点”は無い」。どれだけ華麗なパスを繋いでも、ゴールネットを揺らさなければ意味がない。確かに、この“縦ポン”サッカーは洗練さの欠片もない、単純なサッカーかもしれない。だけど、いや、だからこそ、この“原始的”なサッカーが、必死にボールを追って走る選手たちの姿が、僕の心を熱くさせるんじゃないだろうか…。プロ興業のサッカーとしては、この方が「正解」に近いんじゃないだろうか、と…。

残念ながら、これ以上の失点も許さなかった代わりに、最後まで決めきることも出来なかった。特に#36 瀧谷、ロスタイムのアレは、アレはしっかり決めて欲しかったなあ…サポーターの熱気も最高潮に達した時の決勝ゴールならヒーロー間違いなし、今後の自信にも繋がるはずだったんだけど…(溜息)。でも自分でも相当に悔しかったのは感じたから、次こそは決めて欲しいね！

連敗を3で止めた、でも「勝てなくて悔しい」と思えた試合結果。この勝ち点1を生かすためにも、今節の試合は重要だ。セレッソは厳しい相手だけれど、サッカーに「絶対」は無い。今度こそ、ホームで勝利を！頼むよ！(ささたく)

●アレを決めたら、これからが変わる。そんな場面だったゾ？瀧谷くん。

いや～、残念だった。勝ち点あと2が欲しかった。でも、前節同様、前半からチェイスしてくれてたからね。中三日のフルタイムをよく走り抜いてくれたし、さすがにオツリは残ってなかったか。

ホントに見どころも十分に作った試合だった。けど、冷静に考えれば、個の能力を活かそうとする東京と、自らを抑えてでも相手の優位性を殺そうとする長崎との違い。そういう面もあるのかもしれない。まだまだ、苦勞もするし、厳しい戦いは続くんだろうね。もう一つの国立・味フィ西が丘には200人を超す岐阜サポが訪れた模様。現地サポの声も、この試合を演出したんだと思う。お疲れさまでした。ありがとう！(ぐん、)

【ユース】G1 リーグとクラブユース選手権

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は昨日6/11にG1リーグ第4節の長良高校戦を戦っている筈ですが、結果はどうだったのでしょうか？次の試合は6/25(土)の帝京大可児戦です。第3節終了時点では帝京大可児高が3勝0敗でG1リーグ首位、FC岐阜ユースが2勝1分で2位となっています。第4節の試合結果にもよりますが、ここはしっかり勝点を狙いに行き順位をひっくり返して貰いたい物です。会場は長良川球技メドウで10時半KO。この日はトップチームの試合と重なっていませんので、良ければ応援に行ってください。

一方のクラブユース選手権は全国大会出場権をかけた一番が本日6/12に行われています。対戦相手はPPリーグを2位通過した名古屋グランパスのユースチーム。このチームは今年もU-18世代のトップリーグであるプレミアリーグWESTで戦っているチームなので、そう簡単には勝たせて貰えないでしょうが、そうは言っても同世代。見事ジャイアントキリングを起こして全国大会への出場権を獲得してきて欲しいです。吉報を待っている。行くぞ～！全国！！

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！※試合会場・時間に変更される場合があります。必ず岐阜県サッカー協会やクラブユース連盟、チームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

